

佐渡測量 株式会社

DX宣言書

2026年2月18日
佐渡測量 株式会社
代表取締役社長 池 一義

□ 経営理念

技術者として長年測量設計等のテクノロジーが飛躍的な進化を遂げる様を見届けてきた。
そのノウハウを生かし、我らの住むこの地球へ最先端技術や機器等を駆使して自然に寄り添ったデザインを
施し続ける。そして住み良い豊かな社会造りに取り組んでいく。

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 全社的なDX基盤の整備とデータ利活用により、業務の効率化を目指します
- ◆ 長年培ってきた測量・設計のノウハウをデジタル技術と融合させ、組織の知見として高度化することで、強
くしなやかな技術者集団へと進化します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2027年3月)

戦略 「全社的なDX推進に向けた基盤整備」

- 施策
- ・ 社内一丸となってDX推進を行うため、全社員を対象に導入済みシステムの説明会を実施
 - ・ 全社的な意識改革を推進するため、DX認定を取得
 - ・ 業務を可視化することで課題を抽出し、その課題解決策を検討・実施
- 【具体例】
- 案件・工程・人員情報の整理と共通化を進め、システム間で一貫して使用できるデータ基盤を整備
 - 社員のスケジュールを可視化することで、組織全体の稼働状況を把握

➤ フェーズ2(2027年4月 ～ 2028年3月)

戦略 「収集したデータを活用し、業務を改善・自動化」

- 施策
- ・ 日報と案件データを連携し、実績工数を正確に把握できる体制を確立
 - ・ 積算システムと実績データを連携し、想定工数と実績工数を比較できる仕組みを構築することで、
見積精度を向上
 - ・ 勤怠・経費・給与等のシステムを連携し、転記・集計等の手作業業務を自動化することで、業務スピード
を向上
 - ・ 日報や工数データを自ら確認し、改善につなげることで、データに基づく業務改善文化を定着

➤ フェーズ3(2028年4月 ～ 2029年3月)

戦略 「データ活用による持続的成長」

- 施策
- ・ 既存事業の深化に向け、お客さまが求める価値や当社の強みを起点にした新サービスを検討
 - ・ これまでの取り組みを振り返り、蓄積したデータを基に課題を改善

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ DX認定の取得 : 完了(～ 2027年3月)
- ・ 日報のシステム化に向けたデータ整備 : 完了(～ 2028年3月)